

大館・東館小 育てた児童が販売 トンブリおいしいよ



大館市比内町の東館小学校の全校児童 35 人が 21 日、市内の道の駅などで生産農家の協力を得て自分たちで育てたトンブリを販売し、地元の特産を売り込んだ。

東館小は 2014 年度からトンブリ農家の本間均さん(72)が管理する畑でトンブリ栽培を体験。今年も児童が種まきや苗植え、草刈りを行い、今月 3 日に大館とんぶり生産組合の「とんぶり応援大使」を務めるタレントのふかわりょうさんと一緒に収穫した。

この日は、道の駅ひないと市中心部のいとか大館ショッピングセンターに分かれて販売。道の駅では、1 袋 70 ㌔入りを 720 袋用意。大館桂桜高校の生徒と一緒に作ったおにぎりやサラダなどのレシピを添えて販売した。

トンブリのかぶり物をした 1、2 年生が元気な声で「トンブリを買ってください」などと来店客に呼びかけた。3、5 年生は、背中に「とんぶりの灯は消さない」と書いたオリジナルのはんてんなどを着込み、接客に当たった。

販売開始前から地域住民らが行列を作り、あっという間に完売。さらに追加した。5 年の小松湊史さんは「いつも以上に早く売り切れて驚いた。おいしく食べて、いつまでもトンブリが残り続けてほしい」と話した。(伊藤康仁)

(令和 7 年 10 月 23(木)秋田魁新聞より一部抜粋)